

## 県内2箇所で自転車通行環境の改善に取り組みます！

国土交通省と警察庁では、自転車通行環境整備の模範となるモデル地区を募集し、本年1月17日に全国で98箇所指定しました。

また、四国では8箇所が指定されました。

(香川県2箇所、愛媛県2箇所、高知県2箇所)

徳島県内では、徳島駅周辺地区(徳島市)、佐古駅周辺地区(徳島市)の2地区がモデル地区に指定され、今後自転車を歩行者や車と分離するなど積極的な自転車通行環境の整備に向けて関係者等との調整を進めてまいります。

(別添、地区概要参照)

平成20年 1月17日

### 徳島県道路交通環境安全推進連絡会議

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

徳島県警察本部

徳島県 県土整備部

徳島市 土木部

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

副所長(道路) おかむら たまき 岡村 環 TEL:088-654-2211(代表)

◎交通対策課長 そがべ よしたか 曾我部 芳隆 TEL:088-654-9623(直通)

徳島県 県土整備部 道路保全課

道路保全課長 かなめ てつお 要 哲雄 TEL:088-621-2545(直通)

徳島県警察本部 交通部 交通規制課

交通規制課長 のぎき よしひと 野埼 美仁 TEL:088-622-3101(代表)

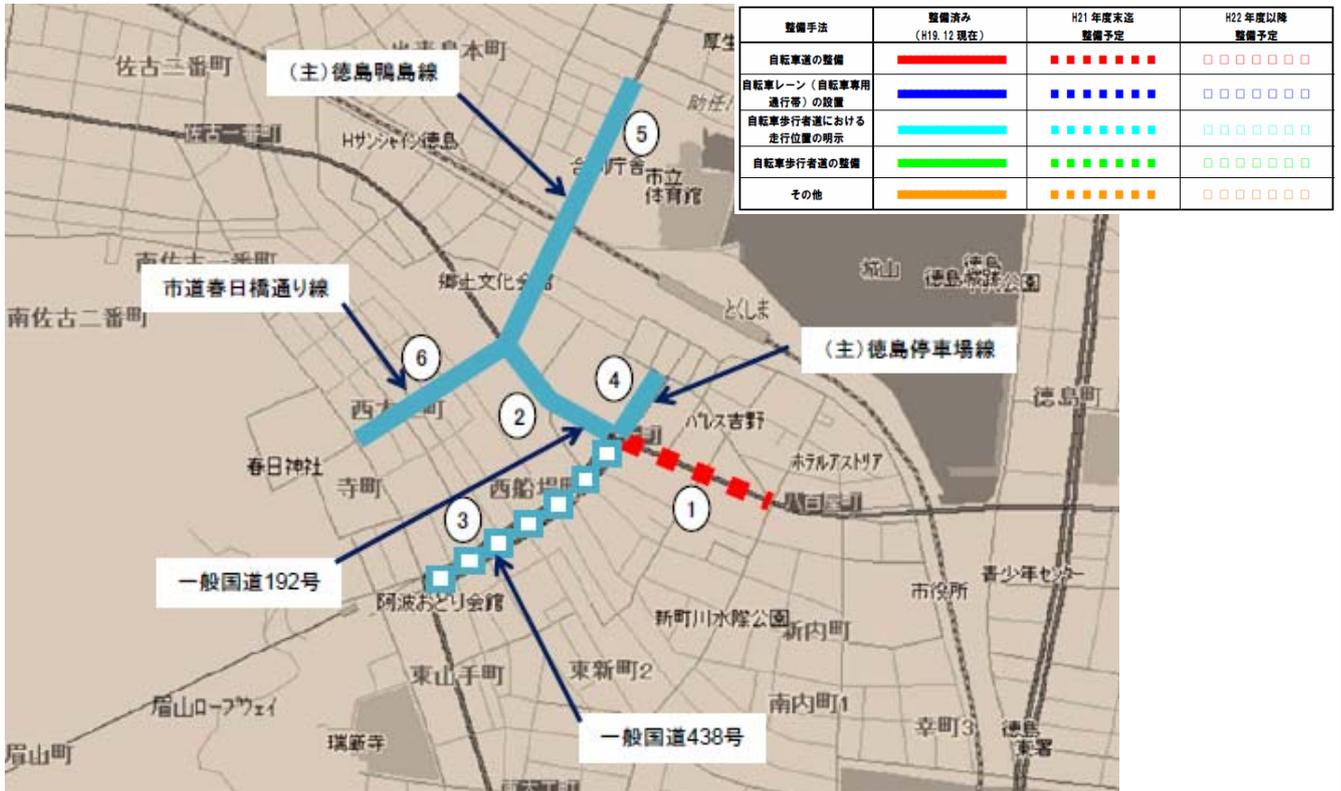
徳島市 土木部 道路建設課

道路建設課長 いそべ よういち 磯部 洋一 TEL:088-621-5331(直通)

◎主たる問い合わせ先

# 徳島駅周辺地区における整備概要

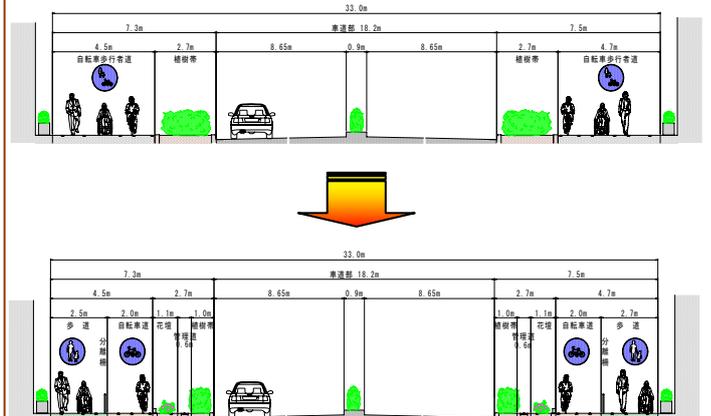
- 実施主体 国土交通省徳島河川国道事務所、徳島県、徳島県警察、徳島市
- 実施内容 ①自転車道の整備・②～⑥走行位置の明示



歩行者と自転車が混在し危険な状態

【施行前】自転車は車道通行が原則となっていますが、車道部に自転車が安全に走行する空間が無いので、歩道を走行する自転車が少なく、人と自転車の事故が増大しています。

## 整備例



【施行後】現在の歩道スペースを歩行者と自転車に分離することで、歩行者は歩道を安心・安全・快適に通行できます。さらに自転車が安全に走行できる空間が確保されるため、自転車事故が減少します。

# 佐古駅周辺地区における整備概要

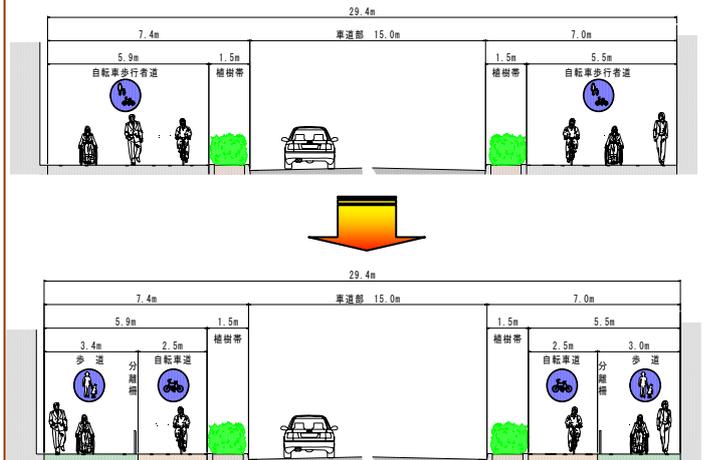
- 実施主体 国土交通省徳島河川国道事務所、徳島県、徳島県警察
- 実施内容 ①自転車道の整備・②走行位置の明示



歩行者と自転車が混在し危険な状態

【施行前】自転車は車道通行が原則となっていますが、車道部に自転車が安全に走行する空間が無いので、歩道を走行する自転車が少なく、人と自転車の事故が増大しています。

## 整備例



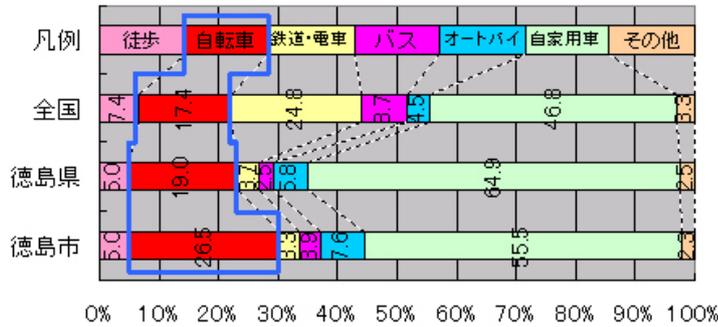
【施行後】現在の歩道スペースを歩行者と自転車に分離することで、歩行者は歩道を安心・安全・快適に通行できます。さらに自転車が安全に走行できる空間が確保されるため、自転車事故が減少します。

## 県内における自転車をとりまく環境

徳島県内は公共交通が未発達であるため通勤・通学時の主要な交通手段として自転車が活用されています。

平成12年 自転車の交通分担率: 全国平均17%  
 徳島県19% 徳島市27%

平成12年 通勤通学時交通(国勢調査/総務省統計局)



徳島駅周辺地区、佐古駅周辺地区の対象道路は自転車の交通量が県内でも非常に多くなっています。

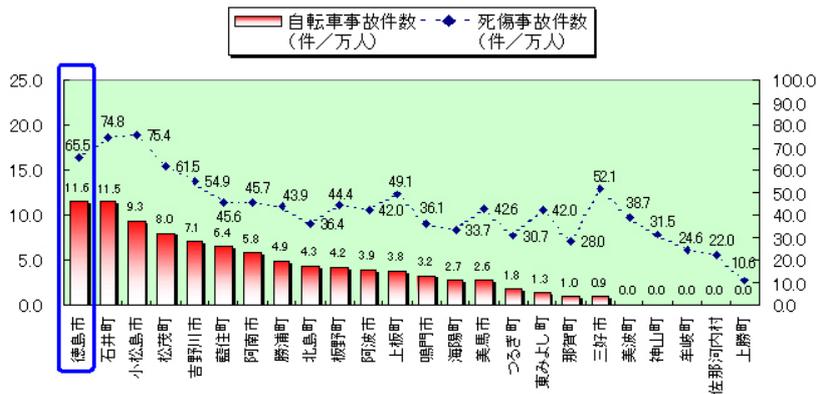
- 徳島駅周辺地区 一般国道192号 : 約4,200台/12時間(平日)
- (主)徳島鴨島線 : 約3,800台/12時間(平日)
- 佐古駅周辺地区 一般国道192号 : 約4,800台/12時間(平日)
- (一)佐古停車場線 : 約2,400台/12時間(平日)

※ 平成17年度道路交通センサス

徳島市は県内の他の市町村と比べて、「死傷者が発生した事故」、「自転車に関係した事故」が多くなっています。

徳島市の死傷事故件数 65.5件/万人  
 徳島市の自転車事故件数 11.6件/万人

平成18年 自転車事故件数・死傷事故件数(徳島県警察本部)



※事故発生箇所: 国道及び県道